
新製品「基板コーティング剤 α 」のご紹介

特許申請済

JISSO株式会社

〒344-0021

埼玉県春日部市大場1134-4 島田ビル 1-D

TEL : 048-734-3631 FAX : 048-734-3691

1) 概要

プリント基板の表面のゴミや異物は、水洗やエアブローまたは静電気で除去されますが、発生元であるプリント基板のエッジ部に対しては、有効な手立てが確立されておられません。そのため基板表面の清掃工程以降も、エッジ部からガラス粉・異物が次々と発生してきます。

新製品の「基板エッジコーティング剤 α 」はそのエッジ部のガラス粉・ゴミをコーティングしてエッジ部を樹脂で固め、再度のゴミやガラス粉の発生を押さえる画期的なコーティング剤です。

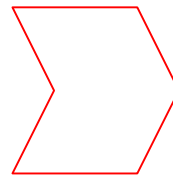
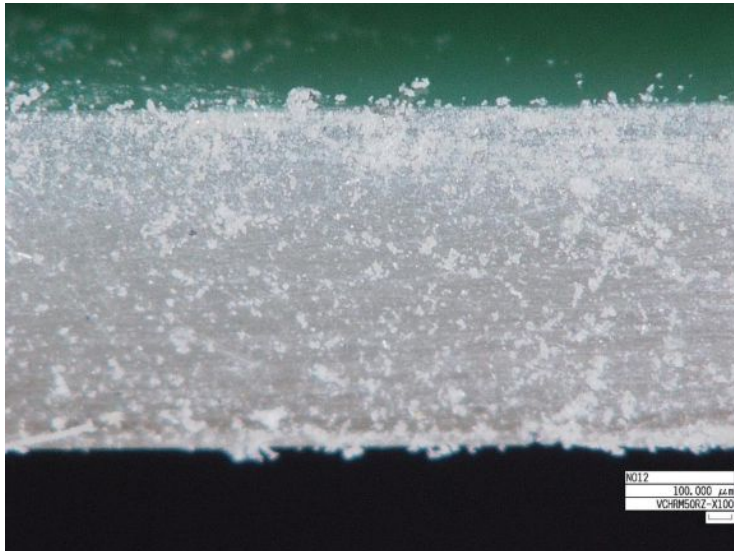
また α には**防湿効果**があるので、基板への防湿対策にもなります。

2) 特徴

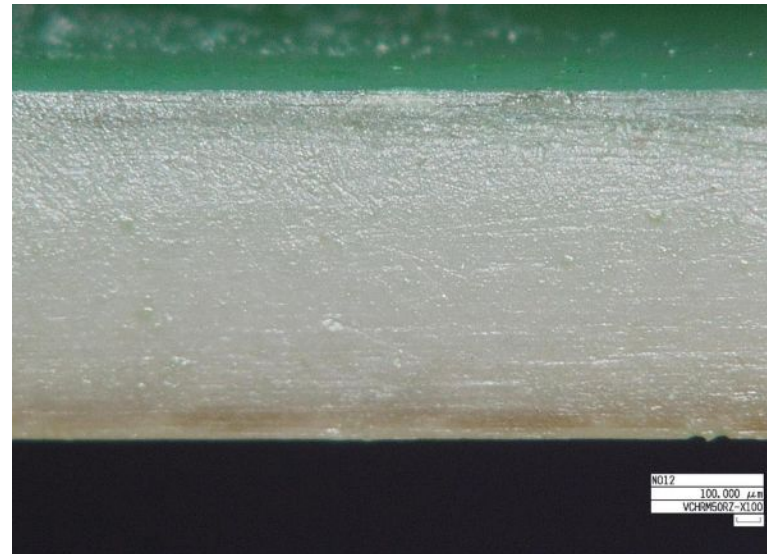
基板のエッジ部に薄く塗布するだけで、常温で硬化したアクリル系エマルジョン樹脂がエッジ部表面をコーティングして、それ以降のエッジ部からのガラス粉等の発生を防ぎます。薬剤は環境にやさしく、**高温・湿度に強く、絶縁抵抗にすぐれています。**

エッジ部を硬化させて、
その後のガラス粉落ちを
封止します。

塗布前のガラス粉が大量に
付着している基板エッジ部



コーティングされた綺麗な
基板エッジ部



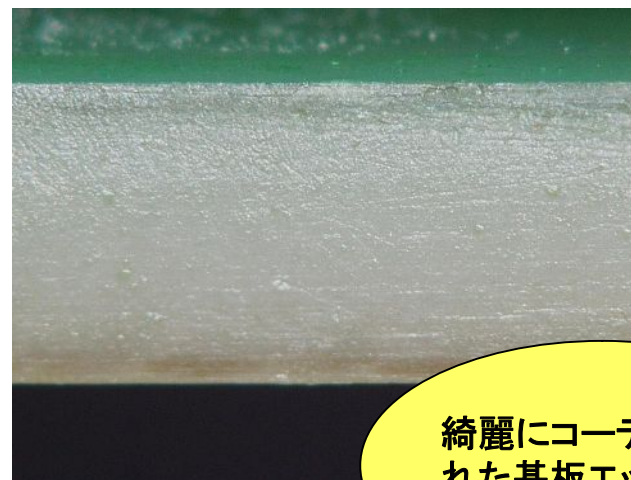
塗布前

塗布後



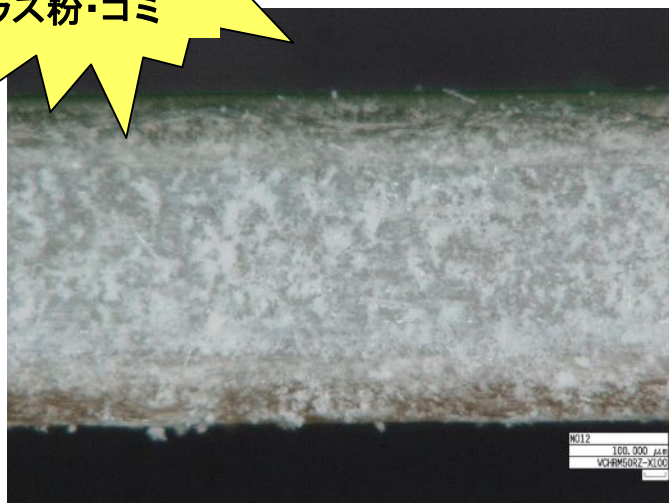
基板エッジ部に多く残るガラス粉・ゴミ

透明

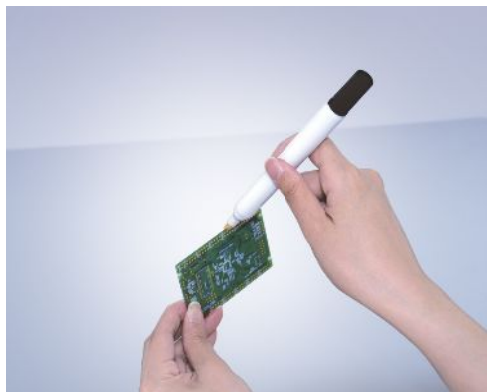


綺麗にコーティングされた基板エッジ部

緑



ペン型での塗布作業

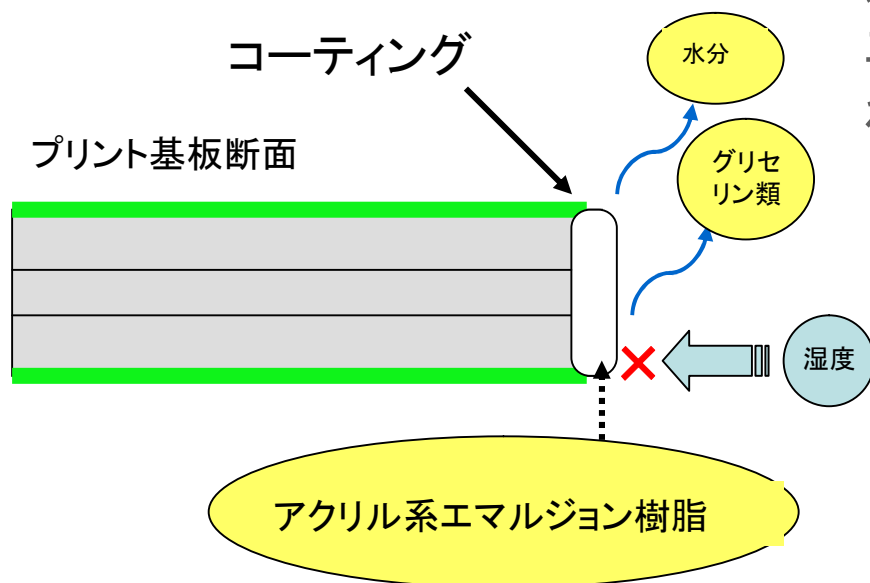


- 1 ペン先で塗布の時、膜厚は約1ミクロン以下。
- 2 常温にて約20秒で乾燥。

★ 乾燥とは塗布部から水分が蒸発して、塗布部に触れても固形化しており、溶剤が転写されない状態を指します。

- 3 水分とグリセリン類が揮発後、アクリル系エマルジョン樹脂が固形化して、塗装される様にエッジ部をコーティングします。

★ アクリル系エマルジョン樹脂使用の理由は、環境にやさしく、粒子径が小さいので、貯蔵安定性にすぐれています。またレオロジー性(物質の流動性や変形特性にすぐれている)がよい為です。



環 境

製品安全データシート、各種信頼性試験データも用意しておりますので、安心してご使用いただけます。

絶縁抵抗性・耐候性・耐熱性に優れており、VOC規制フリー、またローズ規制にも対応しております。

オプション

色は無色透明UV発光・緑色の2種類。

自動塗布装置はインライン用・オフライン用を用意しています。

3) 信頼性試験合格

絶縁抵抗試験 櫛形パターンにα塗布後、恒温恒湿バイアス試験中の絶縁抵抗を測定。

		60°C90%RH								25°C50%RH	
		初期	100h	200h	300h	400h	500h			初期	試験後
緑	1上	4.5E+10	1.4E+10	2.0E+10	1.9E+10	2.0E+10	3.0E+10	緑	1上	5.6E+10	4.3E+10
	1下	5.6E+10	1.0E+10	1.4E+10	1.6E+10	1.6E+10	3.1E+10		1下	5.6E+10	4.8E+10
透明	2上	5.3E+10	1.4E+10	1.6E+10	2.1E+10	5.6E+10	4.2E+10	透明	2上	3.8E+10	5.6E+10
	2下	4.8E+10	1.3E+10	1.9E+10	1.7E+10	2.9E+10	5.0E+10		2下	5.0E+10	5.0E+10

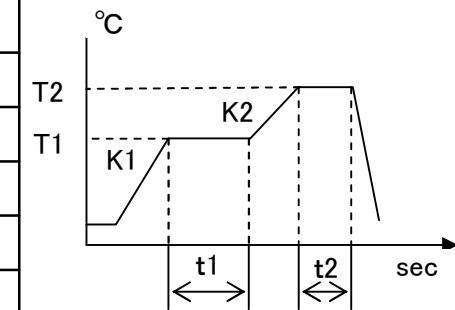
耐久試験 恒温恒湿槽内にサンプルを25°C50%RHで500時間放置後、試験前後の比較。

耐熱試験 右記条件でリフローを3回行い、端面の外観状態を確認する。

液中パーティクル試験

ISO14644-1クラス分類

T1(°C)	170
T2(°C)	260
t1(sec)	60
t2(sec)	10
K1(°C/sec)	3.0
K2(°C/sec)	1.5



製品

500ccボトル



ペンタイプ



インライン自動塗布装置



オフライン自動塗布装置

側面用特殊ディスペンサー採用



基板コーティング剤 α は
長年の問題解決に超低価格で提案いたします

貴社のプリント基板の品質向上に

貴社製品の付加価値向上に

ゴミのない綺麗なプリント基板の完成



基板コーティング剤 α のご用命は下記までご連絡ください

特許申請済

基板のエッジに薬剤を
コーティングして清掃、
ゴミ防止をする工法特許です。

JISSO株式会社

島田 jissoshimada@bridge.ocn.ne.jp

〒344-0021 埼玉県春日部市大場1134-4 島田ビル1-D

TEL048-734-3631 FAX048-734-3691
